

News Release



平成30年7月17日

各報道機関文教担当記者 殿

平成31年度金沢大学入学者選抜に関する要項の公表について

日頃から、本学の教育研究活動に係る報道等に御協力いただき、誠にありがとうございます。

標記のことについて、下記のとおり説明に伺いますので、よろしくお願ひいたします。

記

- 1 日時 : 平成30年7月20日(金) 10時00分から(30分程度)
- 2 場所 : 石川県文教記者室(県庁)
- 3 説明者 : 学長補佐(入試・入試改革) 岩見 雅史
学生部入試課長 松本 芳江
- 4 内容 : 平成31年度金沢大学入学者選抜に関する要項
について説明

<本件に関する照会先>

金沢大学学生部入試課長 松本

Tel:264-5175

<担当>

金沢大学総務部広報室 嘉信

Tel:264-5024

平成31年度(2019年度)金沢大学入学者選抜に関する要項

～前年度からの主な変更点～

1 教科・科目等について

一般入試

<人間社会学域国際学類>

- ① 一般入試(前期日程)で課す大学入試センター試験の科目の変更(「現代社会」,「倫理」,「政治・経済」の利用)
- ② 一般入試(後期日程)で課す大学入試センター試験の科目の変更(「現代社会」,「倫理」,「政治・経済」の利用)

<医薬保健学域保健学類>

- ③ 検査技術科学専攻の一般入試(前期日程)の個別学力検査等で課す科目と配点の変更(理科)

推薦入試Ⅰ

<人間社会学域経済学類>

- ④ 推薦入試Ⅰの選抜方法等の変更

推薦入試Ⅱ

<医薬保健学域保健学類>

- ⑤ 看護学専攻の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更
- ⑥ 作業療法学専攻の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更

帰国子女入試

<人間社会学域経済学類>

- ⑦ 帰国子女入試の選抜方法等の変更

国際バカロレア入試

<人間社会学域経済学類>

- ⑧ 国際バカロレア入試の選抜方法等の変更

<人間社会学域地域創造学類>

- ⑨ 国際バカロレア入試の出願要件及び選抜方法等の変更

- ① 人間社会学域国際学類の一般入試（前期日程）で課す大学入試センター試験の科目を下記のとおり変更する。
（要項 p.21～22 参照）

【変更前（平成30年度）】

	教 科	科 目 名 等
センター 試験	国 語	(「国語」)
	地理歴史	(「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」)
	公 民	(「倫理, 政治・経済」)
	数 学	(「数学I・数学A」) と (「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1)
	理 科	(「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2)
	外国語	(「英語」(注1), 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1)
		【5教科8科目】又は【6教科8科目】

注1：大学入試センター試験の「英語」について、英語外部試験のスコアの提出を認め、TOEFL-iBT：45～68、IELTS（アカデミック・モジュール）バンド：3.0～6.0、GTEC-CBT：820～1100、TEAP：246～304 の場合は、大学入試センター試験の「英語」の80%から100%の得点を、英語外部試験のスコアに応じて与えます。TOEFL-iBT：68以上、IELTS（アカデミック・モジュール）バンド：6.0以上、GTEC-CBT：1100以上、TEAP：304以上の場合は、大学入試センター試験の「英語」の100%の得点を与えます。ただし、大学入試センター試験の「英語」と比較して高得点の方を利用します。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。



【変更後（平成31年度）】

	教 科	科 目 名 等
センター 試験	国 語	(「国語」)
	地理歴史	(「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」 から1又は2)
	公 民	(「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」 から1)
	数 学	(「数学I・数学A」) と (「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1)
	理 科	(「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2)
	外国語	(「英語」(注2), 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1)
		【5教科8科目】又は【6教科8科目】

注1：大学入試センター試験において、『「地理歴史」「公民」』は、次のいずれかの組み合わせとします。

『「地理歴史」から2科目』又は『「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目』

注2：大学入試センター試験の「英語」について、英語外部試験のスコアの提出を認め、TOEFL-iBT：45～68、IELTS（アカデミック・モジュール）バンド：3.0～6.0、GTEC-CBT：820～1100、TEAP：246～304 の場合は、大学入試センター試験の「英語」の80%から100%の得点を、英語外部試験のスコアに応じて与えます。TOEFL-iBT：68以上、IELTS（アカデミック・モジュール）バンド：6.0以上、GTEC-CBT：1100以上、TEAP：304以上の場合は、大学入試センター試験の「英語」の100%の得点を与えます。ただし、大学入試センター試験の「英語」と比較して高得点の方を利用します。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

- ② 人間社会学域国際学類の一般入試（後期日程）で課す大学入試センター試験の科目を下記のとおり変更する。
(要項 p.21～22 参照)

【変更前（平成30年度）】

	教 科	科 目 名 等
センター試験	国 語 地理歴史 公 民 外 国 語	(「国語」) (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」) } から2 (「倫理, 政治・経済」) (「英語」(注1), 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1) 【3教科4科目】又は【4教科4科目】

注1：大学入試センター試験の「英語」について、英語外部試験のスコアの提出を認め、TOEFL-iBT：45～68, IELTS（アカデミック・モジュール）バンド：3.0～6.0, GTEC-CBT：820～1100, TEAP：246～304 の場合は、大学入試センター試験の「英語」の80%から100%の得点を、英語外部試験のスコアに応じて与えます。TOEFL-iBT：68以上, IELTS（アカデミック・モジュール）バンド：6.0以上, GTEC-CBT：1100以上, TEAP：304以上の場合は、大学入試センター試験の「英語」の100%の得点を与えます。ただし、大学入試センター試験の「英語」と比較して高得点の方を利用します。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。



【変更後（平成31年度）】

	教 科	科 目 名 等
センター試験	国 語 地理歴史 公 民 外 国 語	(「国語」) (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」 から1又は2) } から2 (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」 から1) } (注1) (「英語」(注2), 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1) 【3教科4科目】又は【4教科4科目】

注1：大学入試センター試験において、『「地理歴史」「公民」』は、次のいずれかの組み合わせとします。

『「地理歴史」から2科目』又は『「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目』

注2：大学入試センター試験の「英語」について、英語外部試験のスコアの提出を認め、TOEFL-iBT：45～68, IELTS（アカデミック・モジュール）バンド：3.0～6.0, GTEC-CBT：820～1100, TEAP：246～304 の場合は、大学入試センター試験の「英語」の80%から100%の得点を、英語外部試験のスコアに応じて与えます。TOEFL-iBT：68以上, IELTS（アカデミック・モジュール）バンド：6.0以上, GTEC-CBT：1100以上, TEAP：304以上の場合は、大学入試センター試験の「英語」の100%の得点を与えます。ただし、大学入試センター試験の「英語」と比較して高得点の方を利用します。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

- ③ 医薬保健学域保健学類検査技術科学専攻の一般入試（前期日程）の個別学力検査等で課す科目と配点を下記のとおり変更する。 **(要項 p.25 参照)**

【変更前（平成30年度）】

		教 科	科 目 名 等							
科目等	個別学力検査等	数 学	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B」							
		理 科	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」 から1							
		外 国 語	「コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」							
配 点		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900
	個別学力検査等				200	200	200			600
	計	200	100		400	400	400			1500



【変更後（平成31年度）】

		教 科	科 目 名 等							
科目等	個別学力検査等	数 学	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B」							
		理 科	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」 から2							
		外 国 語	「コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」							
配 点		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900
	個別学力検査等				200	400	200			800
	計	200	100		400	600	400			1700

- ④ 人間社会学域経済学類の推薦入試Ⅰの選抜方法を下記のとおり変更する。

(要項 p.27 参照)

【変更前（平成30年度）】

選 抜 方 法 等	
1.	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。
2.	選抜は、小論文、面接の結果及び提出書類（調査書、推薦書、志願理由書）等により総合して行います。小論文は以下の小論文Ⅰと小論文Ⅱからなります。 小論文Ⅰ：推薦入試Ⅰ（小論文Ⅰ実施日）前日から過去5年間に発行されたEconomist, Fortuneに掲載された英文の記事や論説から出題し、出題された論題について800字程度で論述させます。なお、英和辞典を貸与します。 小論文Ⅱ：現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え、出題された論題について800字程度で論述させます。
3.	配点：小論文Ⅰ 100点 小論文Ⅱ 100点 面 接 100点



【変更後（平成31年度）】

選 抜 方 法 等	
1.	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。
2.	選抜は、小論文、TOEIC (L&R)、面接の結果及び提出書類（調査書、推薦書、志願理由書）等により総合して行います。なお、TOEIC (L&R) は100点満点に換算します。 小論文：現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え、出題された論題について800字程度で論述させます。
3.	配点：小論文 100点 TOEIC (L&R) 100点 面 接 100点

- ⑤ 医薬保健学域保健学類看護学専攻の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更する。
 (要項 p.44 参照)

【変更前 (平成30年度)】

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の (1) から (3) のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 学業成績が優秀、人物に優れ、看護学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき1名とします。	

選 抜 方 法 等	
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。	
2. 選抜は、小論文、面接の結果及び調査書、推薦書、志願理由書等提出された書類により総合して行います。	
3. 配点	
小論文	100点
面 接 (調査書、推薦書、志願理由書等を含む)	100点



【変更後 (平成31年度)】

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成31年度大学入学選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
1. 次の (1) から (3) のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成30年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 学業成績が優秀、人物に優れ、看護学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき1名とします。	

選 抜 方 法 等	
選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等 (調査書、推薦書、志願理由書) により総合して行います。	

		教 科	科 目 名 等								
科 目 等	センター試験	国 語 地理歴史 公 民 数 学 理 科 外 国 語	(「国語」) (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」) (「倫理, 政治・経済」) (「数学Ⅰ・数学A」) と (「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1) (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1)	} から1							
	個別学力検査等	その他	面接 (調査書、推薦書、志願理由書等を含む)								
配 点		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計	
	センター試験	200	※100 (100×1)		200	100	200			800	
	個別学力検査等							200		200	
	計	200	※100		200	100	200		200	1000	

⑥ 医薬保健学域保健学類作業療法学専攻の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更する。

(要項 p.48 参照)

【変更前 (平成30年度)】

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の (1) から (3) のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 学業成績が優秀、人物に優れ、作業療法学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき1名とします。	

選 抜 方 法 等	
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。	
2. 選抜は、小論文、面接の結果及び調査書、推薦書、志願理由書等提出された書類により総合して行います。	
3. 配点	
小論文	100点
面 接 (調査書、推薦書、志願理由書等を含む)	100点



【変更後 (平成31年度)】

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成31年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
1. 次の (1) から (3) のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成30年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 学業成績が優秀、人物に優れ、作業療法学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき1名とします。	

選 抜 方 法 等	
選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等 (調査書、推薦書、志願理由書) により総合して行います。	

		教 科	科 目 名 等									
科 目 等	センター試験	国 語 地理歴史 公 民 数 学 理 科 外 国 語	(「国語」) (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」) (「倫理, 政治・経済」) (「数学Ⅰ・数学A」) と (「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1) (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1)	} から1								[5教科6科目]
	個別学力検査等	その他	面接 (調査書、推薦書、志願理由書等を含む)									
配 点		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計		
	センター試験	200	※100 (100×1)		200	100	200			800		
	個別学力検査等							400		400		
	計	200	※100		200	100	200		400	1200		

⑦ 人間社会学域経済学類の帰国子女入試の選抜方法を下記のとおり変更する。

(要項 p.53 参照)

【変更前 (平成30年度)】

選 抜 方 法 等
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。
2. 選抜は、小論文、成績証明書 (調査書)、推薦書、志願理由書及び面接の結果を総合して行います。小論文は以下の小論文Ⅰと小論文Ⅱからなります。 小論文Ⅰ： 帰国子女入試 (小論文Ⅰ実施日) 前日から過去5年間に発行された Economist, Fortune に掲載された英文の記事や論説から出題し、出題された論題について 800 字程度で論述させます。なお、英和辞典を貸与します。 小論文Ⅱ： 現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え、出題された論題について 800 字程度で論述させます。
3. 配点：小論文Ⅰ 100 点 小論文Ⅱ 100 点 面 接 100 点



【変更後 (平成31年度)】

選 抜 方 法 等
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。
2. 選抜は、小論文、成績証明書 (調査書)、推薦書、志願理由書及び面接の結果を総合して行います。 小論文： 現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え、出題された論題について 800 字程度で論述させます。
3. 配点：小論文 100 点 面 接 100 点

⑧ 人間社会学域経済学類の国際バカロレア入試の選抜方法を下記のとおり変更する。

(要項 p.57 参照)

【変更前 (平成30年度)】

選 抜 方 法 等
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。
2. 選抜は、提出書類等、小論文及び面接の結果により総合して行います。小論文は以下の小論文Ⅰと小論文Ⅱからなります。 小論文Ⅰ： 国際バカロレア入試 (小論文Ⅰ実施日) 前日から過去5年間に発行された Economist, Fortune に掲載された英文の記事や論説から出題し、出題された論題について 800 字程度 (日本語) で論述させます。なお、英和辞典を貸与します。 小論文Ⅱ： 現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え、出題された論題について 800 字程度 (日本語) で論述させます。
3. 配点：小論文Ⅰ 100 点 小論文Ⅱ 100 点 面 接 100 点



【変更後 (平成31年度)】

選 抜 方 法 等
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。
2. 選抜は、提出書類等、小論文及び面接の結果により総合して行います。 小論文： 現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え、出題された論題について 800 字程度 (日本語) で論述させます。
3. 配点：小論文 100 点 面 接 100 点

⑨ 人間社会学域地域創造学類の国際バカロレア入試の出願要件及び選抜方法等を下記のとおり変更する。

(要項 p.56～57 参照)

【変更前 (平成30年度)】

出願資格
次の (1) ～ (3) のいずれにも該当する者 (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成30年(2018年)3月までに授与された者及び授与見込みの者で平成30年(2018年)3月31日までに18歳に達するもの (2) 国際バカロレア資格の取得において、次の①及び②に該当する者又は平成30年(2018年)3月までに該当する見込みの者 ① 言語Aを日本語により履修し、成績評価が4以上の者 ただし、言語B(HL)を日本語により履修し、成績評価が4以上の者を含みます。 ② 本学の指定する次の科目を履修し、必要な成績評価を修めた者 地域創造学類：指定なし

選抜方法等
①大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 ②選抜は、提出書類等、小論文及び面接の結果により総合して行います。



【変更後 (平成31年度)】

出願資格
次の (1) ～ (3) のいずれにも該当する者 (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成31年(2019年)3月までに授与された者及び授与見込みの者で平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達するもの (2) 国際バカロレア資格の取得において、次の①及び②に該当する者又は平成31年(2019年)3月までに該当する見込みの者 ① 言語Aを日本語により履修し、成績評価が4以上の者 ただし、言語B(HL)を日本語により履修し、成績評価が4以上の者を含みます。 ② 本学の指定する次の科目を履修し、必要な成績評価を修めた者 地域創造学類：ディプロマスコア35以上かつグループ3～5から1科目(HL成績評価4以上)

選抜方法等
①大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 ②選抜は、提出書類及び面接の結果により総合して行います。